（二十五日夕刊）

磐城新聞

休刊　第一第三日曜大祭日
定價　一部二錢　一ヶ月六十錢　郵税十五錢
廣告料　壹行六十錢指定廿錢增
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

啓蒙記（其二）

福島將夫の海老名禮太等ご親交なきこご

島田忠夫

□

妄者福島將夫が最初「雪夜爐稿」に書いて、北海道の海老名禮太、杉澤文月等とも交友ある如く云々してかの作つたのが、予を引證した。拙劣目もあてられぬ福田の口語歌であつた。しかるに滑稽なことには、問合はした手紙に對してその一人海老名禮太君から次の如き葉書が届いてゐる

拜復　お尋ねの「福田將夫」といふ人はまだことはありませんと思ひます何しろいろんな人が深山やつてくるので　わかりませんが、やつぱり私の記憶に全くないところを見れば、なにも知つてゐませぬ。私のところへは今年はじめて福田將夫といふだけで、住所のかいてない年始狀がきてゐます勿論私からは出してゐませぬ。甚だ氣に入りませすまいが、全く存じませんので、惡しからず。（五年一月十八日）

このやうな葉書が妄者福田の親交ある相手の一人から來てゐる。交友などといふものは當然相對的のもである。況んや親交として相手が存じて居らぬなどといふことが、あり得べきことではない。相手が惣れてゐないのにこちらで相愛の中と勝手にうぬぼれてゐるのを一般である。片方だけでは片思ひ、福田如き場合は一片交とでもいふ新造語を爲すべきであらう。困みに妄者福田君、若しこの葉書が見たかつたら何時でもやつて來給へ。生きてゐる海老名君の例だけで深山であらう。一事を以つて萬を知る。外に杉澤如き死者の名を騷ぎ立てるにあたるまい。そして斷つておくが

をなしては居らぬ。つまりコンマ以下の妄者福田などが有難がるにはふさはしい「神様」なのである。

□

次ぎに妄者福田は哀れむべき文學的精神病者である何故なれば彼はたゞに、歌を作る眞似（敢てかく云ふ）をし乍ら島木赤彥をさへ知らずして「一寸した名ある」てれかくしをする許りではない。「全國にうよ〳〵してゐるトッカピンを常備してゐる神經衰弱歌人」などと云ふに至つては常人の沙汰ではない。つまり彼妄者は文學を情慾か何かの如く心得て居る痴漢である。

更に彼は又次の如くほざいてゐる「島田君よ――君は奴隸歌人とも號す。磐陽詩歌人達は君の愚劣な賣名行爲のひとつひとつについて憐憫の瞳を投射してゐる云々」と。そも「奴隸」とはいかなる場合に用ふる詞か、妄者福田は知らぬらしい。何故の予が奴隸歌人である。そも奴隸といふ名詞の使ひどころがないではないか。これは大分君は意味を知らぬのであらう。尤も卑近の例をひくならば使用人や家僕などの全く自由をそくはくされ酷使される者を云ふのである。君も「拙劣なる香具師的言を弄し」などとも記してをるが、これも大分使ひ方を知らぬのであらう。妄者君の如き予の論文に對して正々堂々たる中心的駁論が云へずして、或はトッカピンとか、奴隸とか、香具師などと罵詈し、或は行爲もせぬ處を書いたり、交際せざる親友（？）を擧げることなどを平氣です。行爲こそ「香具師的」なのである。

も一つ云つておくが「一頁

ない者又は商品などの名を世に知らせ賣り込むことである。少し名のあるものがさらに名を賣るのに廣告である。君如き、歌らしい歌もなく、名聲もなく（フクダマサヲと音で訓むと有名な詩人福田正夫氏があるが、合惜君ではない）無暗と人に嚙み付いてゐるのはまさしく惡名を賣名し得る最良の手段であらう。

□

妄者福田將夫は磐陽詩歌人達が予に憐憫の瞳を投げてゐるといふ。おそらくさうであるまい。聞くに君自身が餘り嘲りつくす爲めに誰れ一人相手にせぬといふではないか。それに誰れが君などの處にそんな「瞳」を見せに持つて行くか。考へても見給へ。のみならず「いはらき」文壇の不可思議な寛容と不思議な因襲緣とを怪しむ」などと生意氣な大言を吐くのをつゝしみ給へ。不可思議なのは「いはらき」文壇ではない。實に君の頭なのである。君の口語歌なのである。一度でいゝから君の歌を「いはらき」歌壇の森田麥が秋選に投じて見たまへ。あの選歌の中で最も拙ないのも君の歌よりは未だ佳からう。怪しみたいのは、こちらだ。

君が予の「拊掌記」に對して「解剖のメスを向ける云々」とほざいたが、先づこゝろみにそのメスで自ら己れが頭腦を解剖し給へ。それが何よりの急務だ。

（つゞく）

※　明日の吉凶　※

新曆一月二十六日　舊曆十二月二十七日

▲一白　一部、同情はありとも大體は注意すべき日▲二黑　安全第一　道を撰んだ積りにても苦ある日▲三碧　物事進みて利あり引込み思案は後を枯らす▲四綠　注意し居りても不圖人の咄しに乘り易き日▲五黑　自制して放縱に流れざれば大なる過誤なし▲六白　苦を常と思ひて勵む時は成果を見るべし▲七赤　自己裁斷は總ての失敗を招く恐を知るべし▲八白　月も滿れば缺くる何事も八分に滿足すべし▲九紫　一時の乏しきを忍ぶ時は福德自ら巡り來る

講談

幕末奇傑高山彥九郎

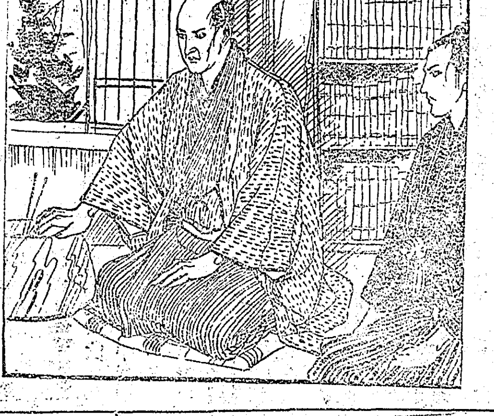
(51)　中西洋々作　布施長春畫

同志の家（九）

まさかに、姿をみせまいと思つてゐたこの家のあるじ柴田主計、それが、不意に入つて來たのですから僞主計の飯岡佐三郎は、すつかりあはてゝしまひました

「おゝ、これは御前」

如何に幕府の權勢を以てしてもたかゞ一目付の下に働く同志でしかない飯岡佐三郎です。相手が堂上人の家人の職にある人ですから流石に頭が上りません。ぴたりと兩手をついて主計を迎へました



「お歸りなされましたか」

「おゝ、これは飯岡氏か」

だが平然たるものは當柴田主計です。今、危い芝居がこの爲に行はれたなどとは露知らない風に、いつもゆつたりとし態度で主座に腰を落しました。

「ようこそ見えられた喃」

「は、お留守中に重々失禮とは存じましたが、せめて御前のお歸りまでもと存じつひ御邪魔申し上げました」

「いや〳〵、一向にお構ひ申さぬ。ごゆるりとすごされい」

輕く、それをうけて、主計は彥九郎の方に向き直りました

「時に高山氏、これが幕府目付にて名高き飯田殿ぢや以後御昵懇を願はるゝがよろしい」

「は」

「飯田殿、こちらは上野の產にて忠誠深き武士、高山彥九郎殿と申さるゝ御人、いまだ御存知あるまいと存ずるから一應お引きあはせ申す」

柴田主計の言葉はあくまで皮肉です。これにはさすかの飯岡もすつかり度膽を奪はれてしまひました

「は」

我にもなく顏に汗して彥九郎に會釋しました

「拙者は飯岡佐三郎、以後宜しく御願ひ申す」

「ほゝお、これは飯岡殿と申さるゝか」

彥九郎は今の先の言葉を忘れたように痛烈な皮肉の針を中に秘めて云ひました

「して、やはり、幕府のお方でござるな」

「は」

「いや、これは〳〵幕府の方々は揃ひも揃つてお人が惡うござる喃。柴田殿が出でさせられなんだら、何れが眞の飯田殿やら、拙者とんと分別がつき申さぬところでござつたよ。は……」

彥九郎の笑ひはまた居たまれず、飯岡の顏をほてらせるのです。

「それは、何のお話しでござるな」主計は何事も知らぬ氣に意地惡く聞きたゞしました

「いや、實は、仔細あつて拙者この飯岡殿を存じて居るのでございます」

「ほゝう、それは奇遇ぢや　それではお引き合せ申すにも及びませなんだのぢやな」

「は、ところが拙者、よもやこの御人が今京洛に名高き飯岡殿だらうとは流石に氣付申しませなんだ。どこまでも高辻公家の雜掌柴田主計殿とのみ思ひ居りました」

「わ？なんと仰せらるゝ」柴田主計であれば一應拙者のようにも聞ね申すが」

「さあ、そこでござります」

彥九郎はちろり皮肉な目で飯岡を流し見ました

「飯岡殿は流石に幕府の爲を思はるゝ忠誠の御人あらぬ人の名を騙つて人の秘密を知らうとなされたのでございますよ」

飯岡は流石にひやりとして思はず首をすくめました

生徒大募集（時間貸歡迎）（規則及び入學案內申込次第進呈す）

自動車界今後の大發展に順應せんが爲め、本校茲に見る所あり、有爲の青年の爲め奉仕的破格の授業料を特定し大募集を開始せり、先づ來りて本校獨特の教授を見られん事を望む。

實地練習の長時間にして學費の低廉なること全國無比、本校の最も誇りとする所なり。

本校出身者の受驗者は實に七割以上
十二月分の合格者氏名
甲種　佐川公一　小林清七　鈴木三郎
乙種　前川福松　猪狩幸七　片山政清　高木英男
―見よ此事實を!!

毎月一日新學期開始

本科　三ケ月卒業　六十圓　學科實習費共
速成科　二ケ月卒業　四十五圓　學科實習費共
受驗科　一ケ月卒業　三十圓　學科實習費共
◎受驗準備短期練習部　毎月試驗前開始十日間全學費十圓
◎卒業生は試驗前無料練習の便あり
◎時間貸値下　新フオード、シボレー一時間三圓　T型フオード一時間二圓

公認　磐城自動車學校
福島縣平町四軒町電話六四〇番

夜間診療

胃腸　梅毒

內科　十二指腸蟲病　專門
淋病　婦人病　皮膚病　專門
內科部　外科部

松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

貸切自動車の御用命は昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
平驛前　昭和タクシー
電話は　三四三番　サシミ

平町紺屋町
吉田眼科醫院

新荷着ト商品全部値下
貴金屬　時計　眼鏡　蓄音器
金側寶石入アンクル腕時計　十貳圓ヨリ
クロム側寶石入アンクル腕時計　六圓ヨリ
十八金石入指輪　四圓ヨリ
精工舍製○S印目覺時計　貳圓ヨリ
精工舍製美術硝子置時計　貳圓ヨリ
商事會社製八日卷掛時計　五圓ヨリ
外保險付額安品澤山入荷
歲末ノ御贈答品ヲ是非
皆樣ノ　金光堂時計店へ　電七三六
◎時計蓄音器修繕ハ早ク良ク安ク致シマス

外科　醫學博士　藤本順
產科　婦人科　院長　木村寅次郎
平町新川町　木村病院　電話一六四番

清酒　世界　造元　吉清水屋　石城小名濱町
銘酒　各炭鑛御用達　小野晋平　電話六番

◎獨乙フンケル會社製
蓄音器針新荷着
◎一本の針デ五回モ使用ガ出來ル
◎高音低音ノ調節自由
◎値安ハ舶來品中デ最モ安イ勿驚（二百本入五十錢）
△この最モ經濟的ナルアノ入針ヲ御薦メ致シマス
特約店　大谷時針病院　電話十九番

◆內臟外科
◆外科一般
◆花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院　電話四三六番

入院隨意（自炊の便あり）
X光線　外科專門
平南町　上田外科醫院　電話一一九

內科診療
消化器病科　呼吸器病科
小兒內科　一般內科
入院應需（自炊ノ便アリ）
平町鼠坂　渡邊內科醫院　電話一六一番

◎ネイションストーブ　値下斷行
連續完全燃燒、燃料經濟、調節自在、堅牢優美、價格低廉
◎スタデリナ石油コンロ
◎及、林內式石油ストーブ
燃料經濟薪炭ニ勝ル、便利ニシテ使用簡易ナリ無煙無臭點滅調節自在ニシテ体裁優美ナリ緊縮時代ニ最モ理想的國產品デアリマス弊所ハ是ガ製造元ト特約ナシ極メテ薄利多賣主義ヲ以ツテ皆樣ノ御需ニ應ジマス是非御試シノ程願上升
日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油會社重油特約店
諏訪電氣株式會社カーバイト特約店
茨城縣下館驛前（電話五五番）
商號　吉田油槽所
本店　關彰商店
常磐線平町一丁目（電話六一番）（九〇二番）
關彰商店平支店

◎ツ石炭の特色
目方の正確
○ツの石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります
◎石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確なければ眞に安いとは申されません
◎當店は目方の正確を期する爲めに
正味十貫目ヲ單位トシ一俵六十錢と定めました
品質の優良
○ツの石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります大量生產ですからお安く賣る事が出來る強味を持つて居ります
○ツの石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手數にても御知らせ下さい。御氣に召す樣に致しますから
電話二三七番へ
平驛前　ツ阿部石炭商店

公認候補者の爭奪から豫期の如く完全に分裂

比佐派は倶樂部に野崎派は有聲座に思ひ〳〵の豫選會

同志打ちの石城民政黨部會

石城民政黨部會豫選會は廿五日午前十時より平町民政黨倶樂部内に開催したが之れより先き比佐黨一派は同日午前五時頃から五百餘名の同志が續々として詰め掛けさしもに廣き倶樂部内も比佐黨一族で立錐の餘地なき狀態となるや之れが會合に一歩後れを取つた野崎黨一派の同志百餘名は無慘にも同豫選會に入場する事を得ずすご〳〵劇場有聲座に引上げるの止むなき立場に陷り比佐派とは全く沒交渉を以つて豫選會を開くに至り兩派は各自勝手に候補者の豫選をなす事になつたので表面上比佐、野崎の兩氏は本日を期して完全に袖を分ち見苦しき嚙み合ひの狀態となつた斯くして結局同部會からは以上の如く二名の候補者が現れ廿六日各派の選衡委員は上福して民政黨支部を訪れ公認決定の猛運動を續ける事になつたが終局は比佐氏が公認に居据り野崎氏が非公認として最後まで血みどろな同志打ちを演ずるに至るではないかと觀測されてゐる

本部の趣旨に基き比佐氏を公認に推す

石城民政倶樂部で同志五百餘名出席

前代議士比佐昌平氏を推薦せんとする石城民政黨部會豫選會は廿五日民政黨倶樂部内に開催したが當日は郡部の幹部及び湯本町比佐氏後援會員等無慮五百餘名參集定刻午前十時部會幹事長荻原義雄氏座長席に着き所定の通り豫選會に移つた先づ民政黨本部の趣旨に基き此の際飽く迄も前代議士比佐昌平氏を公認候補者に推す可く左記役員及び十一名の選衡委員を滿場異議なく可決確定し直ちに支部に對し猛運動を重ねる事になり正午散會した

會長若松美三、副會長大平睦四郎、吉田五平、評議員會長鷲清昇、同副會長永山久助、遊說部長吉田寅之助、同副長高木武、幹事長荻原義雄、常任幹事荒川淺次郎外若干名、政務調査會長野崎滿藏、同副會長上田滿次郎、選衡員若松、上田、草野（三）吉田（五）荻原、鈴木（房）菅原、石川、鷲、青天目、根本（林）

子供の性質を理解せよ

父母の嚴格は案外その效が少ない

注意力集中が肝要

兩親がそ子供の性格にり氣質をよく理解してその子供に最も適合した教育方法を行へば本然の個性を充分に伸ばし得、而もすなほな子供になし得るのは勿論ですが、又生れつき錯質性とか精神病の兆候のある子供でもその取扱ひ如何によつては普通な正しい子供に育て上げる事も決して不可能ではありません。故にその子供の性質によつてどんな教育手段を取つたならば性格的に或は氣質的な欠陷を正し得るかを簡單に述べてみませう。

內氣な子供

內氣な子供は一般に氣が小さく、又これは体質から來る場合も多いのですが、こんな子供に母親がくど〳〵言ひ、父親が嚴格に過ぎればその子供はいぢけて仕舞ひます。この內氣な子は伸びる性は充分にありますから兩親は陽氣な氣持ちで育てて行かねばなりません。

亂暴な子供

この種の子供は親が無理におさへればおさへるだけ却て反抗して來ますから成るべく逆らはないやうにして子供の亂暴しさうな場合とか場所では親の方から先手を打つて亂暴な行爲を子供に出さしめなくて濟むやうに處置して而も和かく教育することが必要であります。

わがまゝな子供

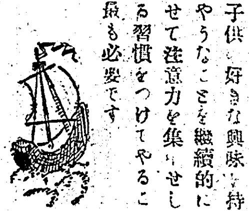
親のいふことも聞かないやうな子供は親が餘りあまやかす事も一つの原因、又頭腦が惡くていふことを聞かない子供は体質的な欠陷を伴ふ場合がありますから醫師に見て貰つて子供に適した教育をして行くがよろしい。

殘忍性のある子供

亂暴な子供と同じく親が先手に出て殘忍な行爲をなす前に取りなすことが必要ですが、一方にたいして美的教育をすることもよろしいと思ひます。

注意散漫な子供

これは体質的欠陷即ち鼻や咽喉などの惡いことに原因する場合は醫師についてその原因を除き又頭が惡くて注意が散漫になる子供はその子供の好きな興味を持てるやうなことを繼續的にやらせて注意力を集中せしめ得る習慣をつけてやることが最も必要です



部會少壯派は野崎氏を推す

劇場有聲座で同志百餘名出席

現縣議野崎滿藏氏を公認に推さんとする部會の少壯一派百餘名は別項の如く聊か憤怒やる瀬もなく平町有聲座に一族郎黨を引具してこゝで豫選會を開いた先づ漆畑會長の挨拶に次ぎ志賀亥之松氏座長席に着き野崎氏を公認候補者に推す事を申し合せ左記十一名の選衡委員及び役員を決定し同委員等は廿六日上福し支部に對し同樣の運動を續ける事になつた

會長漆畑元吉、副野崎滿藏、政務調査會長鷲清昇、副會長永山久吉、評議員會長上田滿次郎、同會長荻原義雄、遊說部長吉田壽三郎、副部長吉田寅之助、常任幹事山田義政、吉田五平、佐藤清久外若干名

石城政友事務所

南町に移轉し實戰に入る

解散直後逸早く活動を開始した石城政友部會では連日平町三丁目の部會倶樂部に幹部會を招集して諸般の協議を進めた結果二十八日事務所を南町通り平警察署前大泉繭取引所に移轉して實戰に臨むこととなり其他遊說家宣傳隊等一切の準備も決定したので今は二十八日の候補者豫選會を待つのみとなつた

入山の落盤

一名即死一名瀕死

石城郡湯本町入山炭礦現場員茨城縣生れ岩尾松吉（三六）同炭礦支柱夫石城郡好間村生れ渡邊光園（四五）の兩名は二十三日午後二時半頃入坑中俄然落盤の爲めに松吉は即死し光園は重傷を負ひ生命危篤で目下炭礦病院で手當中である

小名濱町の公益質屋

今日開業

石城郡小名濱町の公益質屋は既報の如く特に起債認可され一萬五千圓の資金融通を見たので着々開業準備中であつたが事務所、倉庫を同町本町六〇番地に設け今二十五日から開業することになつた

讀者と記者

近眼と勉强

池田生

みなさん、相變らずよく勉强してゐられることでせう。修業式や卒業式も間近くなりました。よく遊ぶと共によく勉强することは大切であります。

◆しかしみなさん

勉强も注意して上手にして下さい、上手に勉强することは身體を惡くしないやうに、そしてよく勉强する事なのです、成績をよくするのもよろしいが、といふて少しでも身體を惡くするやうな事では上手に、うまく立派に勉强したとはいひません、どうも此頃、小學生や中學生に近視がどん〳〵ふゑるのです、眼の惡くなる生徒がだん〳〵多くなります、學校の方でもなんとかして防ぎたいといろ〳〵心配されますが、近視は

◆多くなるばかり

で、まことに困つた事に思ひます、近視といひますのは、眼がねをかけないと遠くの方が見えなくなつてしまふ事で、これがだん〳〵惡くなると、たうとうしまひにはさつぱり見えなくなつてしまふのですからどうかしてみなさん、近視にならぬやうにして下さい。うす暗い室で書いたり、讀んだりするのは一番にいけません。また、あまり室にばかり閉ぢこもり、勉强ばかりすることもよろしくありませぬ

◆勉强のひまには

たび〳〵外へ出て、さかんに運動することにして下さい、大体に身體を丈夫にいたしますと、眼や其他の病氣になることもすくないのであります。物を讀んだり書いたりするときには、學校の先生のいつも言はれてゐるやうに、よい姿勢でして下さい、姿勢の惡い人はやがて眼を惡くするのです氣をつけなくてはなりません、ついでに申しますけれども、電車の中や汽車の中では物を讀まない事にしませう、それは

◆眼をわるくする

もとでありますから、お家へ歸つてからおちついて、正しく讀む樣にいたしませう。

炭礦勞働者の爲め選擧當日を公休に

棄權す減ずるやう各炭礦が協議

第三區中石城郡は二名の當選者を得るだけの票數も石城郡の票數中五分の一は常磐各炭礦勞働者がしめて居るので從來の選擧には常に此炭礦の票數が當選、落選の鍵を握るものとして極めて重大視されてゐた今回の選擧にあたつても依然炭礦の票が問題視されてゐるが茲に問題なるは投票日の二月廿日は木曜日にあたり公休でないので、當日を公休にせねば棄權が多く投票數は半減するものと見られる各炭礦では十六日の第三日曜（公休日）を廿日に繰下げ棄權をなくする樣目下協議中との事である

昨日の暖氣

しかし一日だけの壽命

寒中と思へぬ

南風さへそよ〳〵と吹いた二十四日石城地方は午前中などは丸で三四月の陽氣で寒中とは思へず上衣を脱いで歩く人もあつたが小名濱測候所では「日本海に小さな低氣壓が起きたゝめ俄に溫度が昇つたがしかし一日だけの壽命で二十五日からまた寒くなる」と語つてゐた

石城町村長會

總選擧事務打合

石城郡町村長會は二月二日午前十時より平町第一小學校に開催總選擧事務に對する種々打合せをなす筈で縣より係官出張する

選擧に當面し平局の準備

臨時集配人を募集して

議會解散の報に接した平町郵便局では選擧に關する郵便物の增加する事を豫想し局員が總出となつて有權者の居所を調査してカードを作成したが前回の選擧に同局で取扱つた郵便物は四十餘萬通の多きに達して居り今回の選擧では更に增加するものと豫想されるので近く同局では臨時集配人を募集して選擧關係郵便物取扱の完全を期する由である

建國祭に大行列

平町の各團体が

參加無慮二千餘人

全町民の血湧く

二月十一日の建國祭に際し平町では記念事業として町役場主催となり在鄕軍人分會青年團青年訓練所消防組國本社平支部婦人會女子青年團第一小學校少年赤十字團その他數種團体後援のもとに大宣傳を試む事となつた順序として午前六時煙火を合圖に元商業學校庭に集合同六時半樂隊ラッパを先頭に四列側面縱隊を造り田町大通りより大工町を經て本町五丁目に進行四三二一丁目を通過して紺屋町に入り縣社子鍬倉神社に同七時到着伏見町長の式辭で擧式七時四十分に解散する筈で參加無慮二千人と豫想されるその壯觀は今から全町民の血を湧かしてゐる

滯納者一千九百名

平町當局手古摺る

平町では昭和四年度上半期の滯納者に對して督促狀を發したが納入成績は極めて不良であり滯納人員は千八百二十八名其額は八千百九十五圓三十二錢の多きに達してゐるので近く斷然強制處分として差押へを行ふことになつたが滯納者の多いのは平地方で如何に不景氣であるかを物語つてゐる

感冒の流行をマスクで豫防

冒されたら直ぐ醫師に

平署衞生係語る

本郡地方に百日咳流行蔓延し病床に臥す者が多い、これも晴天續きで空氣が乾燥してゐるから咽喉を害し患ひつくのであらうこれにつき平署衞生係は「醫師でないから病氣の知識は無い、しかし感冒は近頃の樣に晴天續きで空氣の乾燥してゐる時に多く冒され易い樣に思はれるが、感冒位だと油斷と不注意の結果冒される場合も尠くは無い、醫師でなくとも患者が續出し人命を襲ふが如き場合には、警官としては默過する事は出來ぬから各自は自からが冒されぬ樣注意が願ひたい、その方法としては先づ外出の際はマスクを掛ける事冒された者は勿論、冒され氣味の者は直ちに醫師の手當を受ける事、其他總てに注意されて互に冒されぬ樣願ひ

[illegible]たいものだ」と語つた

東北帝大看護婦募集

東北帝國大學醫學部附屬醫院では本年養成する看護婦並に產婆生徒を募集するが平町の分は三月十日平役場で行なはれるが詳細は平役場に答れた

四倉署で

飲食店に訓示を與ふ

四倉署では二十四日管內飲食店酌婦を同署に招致改正された取締規則に就て松本署長は訓辭をした

鐵道踏切でキミちやん

自動車に轢かれ負傷

平町才槌小路菊地自動車部運轉士山形縣生れ吉田拾四郎（二二）は昨二十三日午後二時磐城炭礦から石炭を滿積して內郷村鐵道踏切に差掛ると丁度昇上機がさがつたのでストプしたが間もなく昇降機が上つたので前進しようとした際反對側から貨物自動車が走つて來たので前記自動車は急にバックをするや後方の山邊キミ子（四）を轢き左足に大傷を負ふたと

名木

賣られ行く

好間村の欅

石城郡好間村大字北好間高木醬油店所有欅は周圍二丈餘枝下三間餘の大木で濱三郡に於ける名木として有名だつたが今回平町十五丁目織田村木店へ價格千八百圓で賣却した地方ではこの名木の伐採を非常に惜んで居るがこの名木は東京の市場に本月末出す豫定であると

町道改修の

工事入札

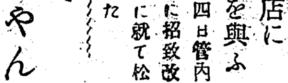
平町十五丁目並に大町地內町道改修工事入札は二十七日平町役場で行ふ

平町人事

△婚　結

四丁目二六猪狩ツル（三五）夫西白川町櫻町六三須釜精治（三二）

一圓十錢のフランス
マルツー會社元詰
マルツー、ブランク
マルツー、ルージ
生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二　西村屋藥舖　三番



金解禁後第一回入荷
澤山入荷致しました
格定ノ工合良キ
懷中時計
腕時計
掛時計
目覺時計
蓄音器
どうぞ御用命の程を
尚舊正月二日三日兩日は吉例により景品付大賣出しを致しますから多少にかゝわらず御買上を願ひます
御來店の方にはもれなく景品進呈
保險付貴金屬も入荷
平町五丁目（釜屋前）
金光堂時計店
電話七三六番

共濟病院　各科專門

科	肩書	氏名
耳鼻咽喉科	醫學士	井上俊次郎
	醫學博士	渡部貞助
產婦人科	醫學博士	松枝茂
	醫學士	氏家憲介
外科	醫學博士	桂重次
內科	醫學博士	難波睦
	醫學博士	中西林藏
×光線	醫學博士	難波睦
	技師	工藤慶造
衞生試驗所	醫學博士	中西林藏
	技師	小熊英夫
藥局	藥劑師	吉本孝平
本院醫事法制囑託	法學士	岡番
	本院主管	賀澤忠治

一衞生試驗所
一病氣相談所
一救療所
（共濟病院內）
共濟病院は皆さんの病院であります
御氣付のことは御注意を願へます
磐城共濟會
平町電話六四一番
◎看護婦見習募集

生花教授
池ノ坊流生花を懇切叮寧に御教授いたします、御遊びがてら御出て下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの